

JP 692331

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-92331

(43)公開日 平成6年(1994)4月5日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 B 63/02		8407-3E		
31/02		B 9339-3E		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-172825

(22)出願日 平成4年(1992)6月30日

(71)出願人 391052312

柴田 康雄

東京都杉並区高井戸西1丁目11番13号

(72)発明者 柴田 康雄

東京都杉並区高井戸西1丁目11番13号

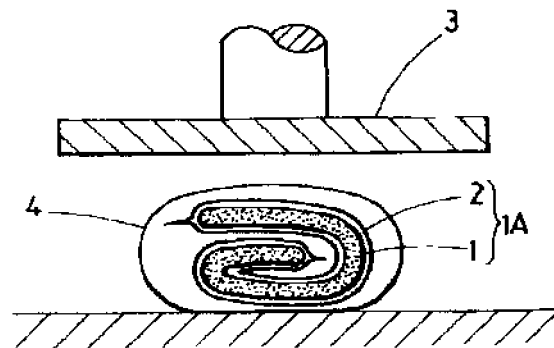
(74)代理人 弁理士 杉本 勝徳 (外1名)

(54)【発明の名称】 クッション類の包装方法

(57)【要約】

【目的】クッション類を小さく包装できるとともに、ある程度の固さをもった状態に包装し、更に、気密が破れても、元通りの大きさには膨らまないような包装方法を提供すること。

【構成】クッション1を外側の袋2に入れて真空包装して封印し、偏平な状態にする。この偏平な状態としたクッション1Aを二つ折りして、内側の袋4に入れて真空包装して封印する。真空包装のために内部の空気を吸引するときに、プレス3で圧縮する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】クッション類を第一の気密袋にて真空包装して偏平な状態にし、この偏平な状態としたクッション類を少なくとも二つ折りして、第二の気密袋にて真空包装して偏平な状態に包装することを特徴とするクッション類の包装方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、クッションやフトン等のように、内部に多くの空気を含んで膨らんでいる物を、真空包装して、小さな状態にする包装方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】クッションやフトン等のように、内部に多くの空気を含んで膨らんでいる物は、自然な状態では膨らんでいるので大変に嵩張っている。そこで、真空包装によってその嵩を減らすことが行われている。それは、クッション類を第一の気密袋にて真空包装して偏平な状態にして、収納、移送、展示等するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の真空包装では、膨らんだクッション類が確かに偏平状になって、体積は減少するが、ベラベラの状態であるので、扱い難いという問題がある。また、更に小さくすることが要求される場合に、折り畳んでみても、折りにくく、無理して折ると、袋が破損し易くなるという問題があった。

【0004】また、袋にピンホール等があつて、気密が破れた場合には、元通りに膨らんでしまうという問題がある。そのような問題を解決するために、二重、三重に袋を重ねると、気密が破れる危険性は減少するが、外部の突起物等が当たれば容易に気密は破れてしまい、元通りの大きさに膨らんでしまうという問題は解決されない。

【0005】そこで、本発明においては、クッション類を小さく包装できるとともに、ある程度の固さをもった状態に包装し、更に、気密が破れても、元通りの大きさには膨らまないような包装方法を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、クッション類を第一の気密袋にて真空包装して偏平な状態にし、この偏平な状態としたクッション類を少なくとも二つ折りして、折った状態のクッション類より僅かに大きい第二の気密袋にて真空包装して偏平な状態に包装するという方法を講じた。

【0007】

【作用】上記方法によれば、クッション類を第一の気密袋にて真空包装して偏平な状態にし、この偏平な状態としたクッション類を少なくとも二つ折りするので、更に

2

面積が小さくなるとともに、少なくとも二つ折りしてから、第二の気密袋に入れて、更に真空包装するので、程度の固さをもった板状になる。

【0008】そして、気密が破れても外側の第二の気密袋以上には膨らむことはできない。そこで、第2の気密袋を第1の気密袋より小さくすると、気密が破れたときの膨脹を押さえることができる。

【0009】

【実施例】以下に、本発明のクッション類の包装方法を実施例に基づいて詳説する。図1は前記実施例のクッション類の包装方法の工程を説明する斜視図、図2は前記工程の断面図、図3は前記実施例のクッション類の包装方法の工程を説明する斜視図、図4は前記工程の断面図である。

【0010】図1、2において、1はクッション、2は内側の袋、3はプレスである。まず、クッション1を内側の袋2に入れて、プレス3で圧縮してから、袋内の空気を吸引して真空包装する。このとき、前記内側の袋2は前記クッション1の断面積よりも大きくする。

【0011】上記工程によって、クッション1は偏平状に圧縮された状態となる。この状態で、破線で示した部分を融着して封印する。次に、偏平状に圧縮されたクッション1を、図3に示した1Aのように三つ折り状態のクッションとして、外側の袋4に入れる。この外側の袋4の幅は、三つ折りにしたクッション1Aより僅かに広い幅とする。

【0012】外側の袋4に入れた状態で、図4に示すように、プレス3で圧縮してから、外側の袋4内の空気を吸引して、破線で示した部分を融着して封印することによって真空包装する。以上において、前記内側の袋2は第1の気密袋に対応し、前記外側の袋4は第2の気密袋に対応している。

【0013】以上のような工程によって真空包装すると、クッション1は真空包装によって、体積が極めて小さくなるとともに、三つ折りすることにより幅も小さくなるので、運搬、保管、展示等のスペース効率が極めて良くなるという効果が得られる。更に、三つ折りすることによって、堅い板状になるので、取扱いが容易になるという効果も得られる。

【0014】そして、袋の内部の空気を吸引するときに、プレスで押して内部の空気をある程度排出してから吸引するので、能率がよい。

【0015】上記効果に加えて、クッション1は内側の袋2と外側の袋4とで、二重に真空包装されているので、気密性の高い特殊な材質の袋でなくても、袋の空気漏れ等の影響を受けにくいという効果が得られる。例えば、外側の袋4に空気漏れが生じた場合には、外側の袋4と内側の袋2との間に空気が入って外側の袋4の大きさまでは膨脹するが、外側の袋4の大きさ以上に膨脹することは防止できる。

3

【0016】また、内側の袋2に空気漏れが生じた場合には、外側の袋4と内側の袋2との間には空気が無いので、クッションは膨張しない。また、プレスで押さえて吸引するので、クッションが皺になりにくいという効果も得られる。

【0017】なお、外側の袋に入れるときには、三つ折りに限らず二つ折り等でもよい。また、内側の袋2は例えばポリエチレン製とし、外側の袋4は例えばナイロン層をポリエチレン層で両側から挟んだものとしてもよい。本発明のクッション類の包装方法の使用対象として

【0018】

【発明の効果】このように、本発明によれば、クッションを二重に真空包装するので、袋が破損しにくくなるとともに、空気漏れによってクッションが膨らんでしまうことを防止でき、クッションの運搬、保管、展示等において優れたスペース効率が得られる。即ち、例え、袋の気密状態が破れても、外側の袋より大きく膨らむことは

4

防止できる。

【0019】また、偏平な状態としたクッション類を少なくとも二つ折りしてから再び真空包装するので、ある程度の堅さをもった板状になるので、取扱いが容易になるという効果も得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例のクッション類の包装方法の工程を説明する斜視図である。

【図2】前記工程の断面図である。

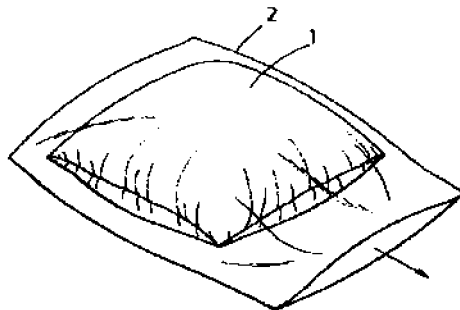
10 【図3】前記実施例のクッション類の包装方法の工程を説明する斜視図である。

【図4】前記工程の断面図である。

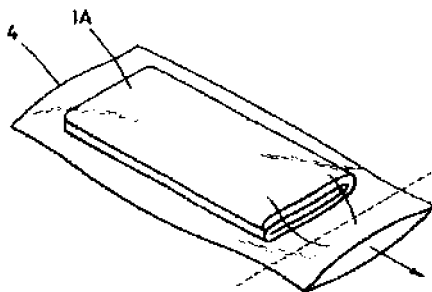
【符号の説明】

- 1 クッション
- 2 内側の袋（第1の気密袋）
- 3 プレス
- 4 外側の袋（第2の気密袋）
- 1A 三つ折りにした状態のクッション

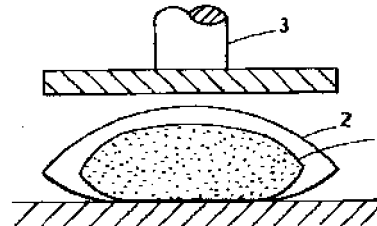
【図1】



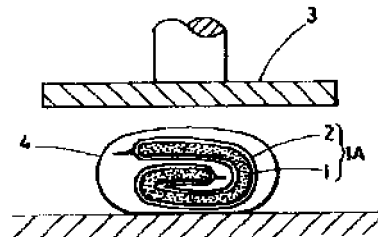
【図3】



【図2】



【図4】



PAT-NO: JP406092331A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06092331 A
TITLE: PACKAGING METHOD FOR CUSHIONS

PUBN-DATE: April 5, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SHIBATA, YASUO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SHIBATA YASUO	N/A

APPL-NO: JP04172825
APPL-DATE: June 30, 1992

INT-CL (IPC): B65 B 063/02 , B65 B 031/02

US-CL-CURRENT: 53/434 , 53/436 , 53/449

ABSTRACT:

PURPOSE: To offer a packaging method by which a cushion can be packaged compact and in a state where it has a hardness of a certain degree, and kept from expanding up to the original size even when the airtightness is broken.

CONSTITUTION: A cushion 1 is put into an external bag 2, vacuum-packaged and sealed so that it is flattened. The flattened cushion 1A is folded into three, put into an interior bag 4, vacuum-packed and sealed. When air inside the bag is sucked out for vacuum packaging, the cushion 1 is pressed by a press 3.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

SCANNED